



第 52 号
 羽工工業高等学校
 2017年9月27日

「時代の波」

P T A 会長 谷本 千春



暑さ厳しき折から、時下ますます
 ご清祥の段、お慶び申し上げます。
 日頃より P T A 活動に、ご理解とご
 協力をいただきありがとうございます。

また、先般行われました P T A 総
 会、地区懇談会には多くの保護者の
 方にご参加いただきありがとうございます。
 P T A 役員、理事とも一丸
 となって活動していきますので、よ
 ろしくお願いいたします。

現在、ほとんどの生徒が、スマート
 フォンやパソコンを活用し、たくさ
 んの情報の中で、正しいものを見極
 め、選択していく、難しい時代になっ

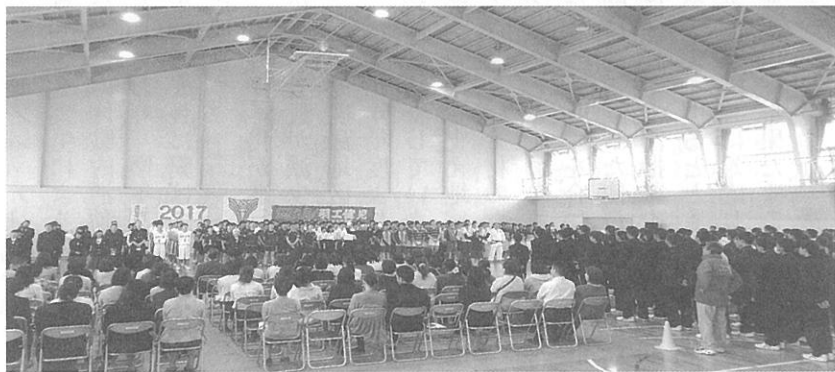
ています。学校でもスマートフォンの
 マナーについて、繰り返し学ぶ機会
 を設けていただいています。

ものづくりにおいても、急速な時代
 の変化を受け止めて、機械と情報技
 術が融合した新しい産業が成長を続
 け、I O T (モノのインターネット・
 Internet of Things) や A I (人工

知能: artificial intelligence) を活
 用した技術が取り入れられています。
 そんな時代だからこそ、どんなこと
 にも柔軟に取り組んでいける姿勢が
 大切になってきます。学校で学んだ
 ことをベースに、更に研鑽を積み、
 無限の可能性にかけて欲しいです。

本校では、多くの生徒が社会に出
 ていくための準備をしていきます。
 そのためにも、多くの資格試験に取
 り組み、その努力の結果を自信に変
 えていきます。是非、ひとつでも多
 くの資格を取得して、大きな自信に
 つなげて欲しいと思います。

最後にありますが、保護者の皆様
 には羽工祭や球技大会、マラソン大
 会、学校公開など、学校に足を運ん
 でいただき、ご家庭ではなかなか見
 られない子ども達の姿を見に来てい
 ただければと思います。就職予定の
 生徒については、学校生活が最後にな
 ります。楽しい会になるよう努め
 てまいりますので、引き続き P T A
 活動へのご参加いただけますよう、
 よろしくお願い申し上げます。



〈県高校総体壮行式〉

平成二十九年 P T A 役員の方々です

会長	谷本千春
副会長	木舩さゆり
〃	杉本由香里
〃	大根和美
〃	島下文絵
〃	古川ちはる
〃	山口好範
〃	山澤三佐子
〃	西内栄次
〃	木内良純
〃	塩谷悟
〃	一瀬明彦
〃	稲岡政利
書記	西村拓也
監査	石田薫
〃	森田和美
〃	舩岡香澄
広報委員長	古川ちはる
研修委員長	木内良純
生活指導委員長	西内栄次
母親委員長	杉本由香里
バス管理委員長	谷本千春

「感謝」

校長 塩田 憲司



保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動の推進に多大なご協力と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度も、五月十二日に行われましたPTA総会におきまして、役員改選が行われ、谷本千春会長を中心とした新体制のもと、様々なPTA活動を行っていただいております。ここで、退任された旧役員の皆様のごこれまでの多大なるご尽力に對しまして、改めて感謝申し上げます。

今年度がスタートして、早、前半期を折り返そうとしております。一学期六月には総体・総文石川大会が行われ、数多くの部が、日々重ねてきた練習の成果を十分に発揮し成果をあげてくれました。剣道部とソフト部が全国高校総体に、囲碁・将棋部が全国大会に出場し、陸上競技部、ソフトテニス部、柔道部、卓球部が北信越大会などの上位大会に出場、他の運動部からの掛け持ちで挑んでくれた相撲部も全国十和田大会に出場するなど、素晴らしい活躍を見せてくれました。また、その他の運動

部・文化部も最後までしっかりと競技・発表に取り組み、日頃の練習成果を存分に発揮してくれました。

一学年三クラスという少ない生徒数の中で、本校には運動部十四、文化部十三の部活動がありますが、いずれの部でも高い目標を掲げ目的意識をもって生徒達は積極的に取り組んでいます。昨年度、石川県高校総体敢闘賞を獲得（一学年四クラス規模以下の高校で競技成績の総合点が最も高い高校が受賞する）できたことは、その証とも言えます。今年度も敢闘賞の獲得を期待しているところです。このような成果をあげられるのも、保護者の皆様の子供達に対する深い愛情と支え、学校に対するご理解とご協力があればこそと感じております。心から感謝申し上げます。

さて、年度の後半期となるこれらの半年は、生徒達にとって学習・部活動・学校行事等で最も充実した期間であり、次のステップに繋げる大切な期間であります。三年生にとっては、この九月以降が進路を決定する大事な時期であり、卒業後の新たなステージの準備期間でもあります。今後も、保護者の皆様と連携して生徒の進路実現を支えていきたいと思っております。そして、一・二年生は日頃の学習内容がさらに深まり、資格試験受験の機会も増えます。また、

インターシップ、修学旅行、企業見学、卒業生による地元企業と語る会などの体験的活動も多く行うこととしており、学年ごとに行うことと生徒の成長に繋げていきたいと考えています。

今、少子化が進行し全体的に中学校卒業者が減少しており、羽咋郡市、七尾鹿島地区においても、中学三年生が昨年度より合わせて一三〇名程度減少しています。こうした中で、企業を支え地域社会を担っていく、逞しい人材の育成がより一層強く求められております。「ものづくりは人づくり」を合い言葉に、我々教職員はこうした使命をしっかりと肝に銘じ、学習指導や進路指導の一層の充実を図るとともに、生徒・保護者のニーズに対応し、個々の生徒の進路実現を果たすことの出来る魅力ある学校づくり、選ばれる学校づくりを目指して一丸となつて学校運営を推進して参ります。今後とも、引き続きご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成二十九年 度 P T A 総会報告

五月十二日(金)にPTA総会が開催されました。当日は、総会前に各学科の授業・実習の様子を間近で見学して頂く授業参観と沢山の保護者の方々の前で応援歌を大きな声で歌い、

各部の選手がパフォーマンスを交えて勝利の誓いを述べる県高校総体等壮行式が行われました。

総会では、議事次第により、昨年度の事業・会計決算報告及び今年度の事業計画や予算について審議いただきました。羽工生の健全育成及び活発な活動のために尽力することを確認し、今年度の出発となりました。総会に続いて学校活動の紹介が行われ、学校経営計画・重点目標・資格検定・進路状況等についてプレゼンテーション形式での説明がありました。

その後、学年ごとに別れて学年集會が行われました。主な内容として、一・二年生は、学校生活や生活指導についての報告連絡、三年生は、希望する就職・進学の実現に向けた取り組みについて報告をし、最後に学級懇談会が行われました。

PTA 功労者表彰

功労者表彰として次の五名の方々に谷本PTA会長より感謝状をお渡ししました。

役 歴

会長、副会長	寺澤 智之 様
副会長	西屋 修 様
副会長、会計	和角 静香 様
副会長	菅野三重子 様
副会長、監査	瀬戸 政彦 様
副会長	西村 誠 様



〈PTA自転車マナー県下一斉指導〉

去る六月二十二日(木)の朝七時四十分より、保護者の方々・教職員・生徒会役員生徒が、羽昨駅および学校付近の交差点で、正しい自転車の乗車マナーや横断歩道を渡る際の安全指導を行いました。

PTA自転車マナー 県下一斉指導



〈PTA総会 学年集会〉

石川県高等学校PTA連合会総会・ 指導者研修会の報告

六月七日(水)、金沢ニューグランドホテルに於いて開催され、谷本会長、山口副会長、塩田校長、安達教諭の四名が参加しました。始めに、医療法人社団「明寿会」雨晴クリニック副院長の坪田聡氏より「寝る子は育つ」って本当? 快眠のための「アイディア」と題した講演を聞きました。総会では、昨年度の本校PTA会長の山口さんが表彰を受けました。またPTA連合会および安全互助会における議事として、平成二十八年度の事業・決算報告や今年度の予算等について説明があり、すべて承認されました。

地区PTA懇談会

今年度の本校地区PTA懇談会は、六月二十七日(火)、二十八日(水)、二十九日(木)の三日間、それぞれ、志賀会場(志賀町文化ホール)、七尾会場(七尾サンライフプラザ)、羽昨会場(羽昨工業高校)に於いて十八時四十分から二十時三十分の時間で、学校紹介と学年・クラス別の懇談会を行い、合わせて一三九名の保護者の方々が参加して実施されました。参加された保護者の皆様、ありがとうございました。

志賀地区懇談会に参加して

監査 舛岡 香澄

志賀地区PTA懇談会は六月二十七日(火)、志賀町文化ホールに於いて開催されました。教務課から各学年の中間考査の結果や学力向上に向けての取組、資格取得の奨励等の報告がありました。資格取得に関連したジュニアマイスター顕彰制度での四年連続全国ベスト三〇という結果は大変素晴らしい、子供達にとつて学ぶことの励みとなると思いました。生徒指導課からはスマートフォンでの報告がありました。プロジェクトを用いての説明で分かりやすくとても印象に残りました。

七尾地区懇談会に参加して

副会長 皇下 文絵

通わせてよかったと改めて感じました。そして、今回参加できなかった保護者の方にも次回はぜひ参加して頂き、先生方と意見交換をして頂けたらと思います。

進路指導課からは最近五カ年の進路・求人状況についての報告でした。これからの時代に求められる人材のキーワード「コミュニケーション力」をいかに身に付けていくかは、ネット上での交流が中心の子供達にとつては大きな課題になるのではないかと感じました。全体会の後に学年別懇談会が行われました。担任の先生から学校での子供達の様子を聞いたり、日頃気になっていた事を質問したりと有意義な時間となりました。今回、地区懇談会に参加し、先生方の熱意に触れ、この学校に子供を

六月二十八日(水)七尾サンライフプラザで開催され、五一名の保護者が参加しました。生徒指導課から、スマホ教育として使い方などについてクラスで話し合い、発表していることと、アンケート結果などの報告がありました。昨年、ツイッターが乗っ取られるという事件が発生したことに驚きました。スマホを持たせる際に作るべき六つのルールとして、①所有権は親にあること②電話には必ず出ること③利用時間を守ること④他人の悪口は書き込まないこと⑤食事中は使用しないこと⑥パスワードは常に共有することが紹介され、約束事を作って欲しいと言われましたが、いくつ守られているでしょうか、子供と話し合う良い機会にしたいと思いました。学年懇談会は三年生に参加しました。進路ガイダンスは総会で説明を一度受けていたので復習になり、よく理解できました。保護者の方々には、お忙しい中、